メーデー特集号

荒川新聞

発行責任	
執行委員長	
編集責任	
教育宣伝部	
東京清掃労働組合荒川支部	

2019年6月15日
第21号

第90回日比谷メーデーが開催されました。5月1日は天皇の即位礼の日で祝日となり、多くの参加者支援部が参加した。対応は当日まで参加者の結集に比べ、6千人が集まった。楽団は日比谷野外音楽堂に結集し、生活と民主主義を守ろう！！」をスローガンに掲げ、集会に参加しました。

昨年安倍政権が強行成立させた「働き方改革関連法」、新たな「出入国管理法改正」が、4月に施行され、8時間労働の制限、破壊の「単一労働者を外国人労働者の題」と「労働組合の結成、団結権、団体交渉権、争議権の生活と権利を守ろう」と、「憲法改悪に向けた安倍政権の退陣を求める集会となりました。

【メーデーに参加して】

今回、休務にあたっていたため、支部の仲間と行動し、日米軍事強化、基地建設に関する「国民投票」が行われ、沖縄の辺野古埋立をめぐる国民意識が明らかとなった。

2月の「戦争をする国家体制と決起集会」と題した集会は、多くの参加者で満席となり、今年の年間の活動を持ち寄り、企業単位の団結を使って、生活と権利を守ろうと、厳しい情勢を反映した。

私自身、2年ぶりに参加でき、今年の年間の活動を持ち寄り、企業単位の団結を使って、生活と権利を守ろうと、厳しい情勢を反映した。

労働者の団結こそが日本の未来を変えていく重要な第一歩だと改めて感じました。

[金子　雅和]